

在学生の活躍

関西学生学年別陸上競技選手権 1500mで優勝



中田滋夫君(経済学部4年)

1999年10月に開催された関西学生学年別陸上競技選手権大会において、中田滋夫君(経3年、当時)が、1500mで優勝、800mで2位に輝いた。

とりわけ、800mでは、全日本ランキング(実業団も含む)15位という素晴らしい記録を達成。

一優勝の感想

「優勝も嬉しかったんですが、もっと嬉しかったのは、800mで出した記録です。2位といっても1位の人とは、0.1秒差、ほとんど胸の差でした。98年の冬に、心臓病で倒れてしまい、陸上を断念するべきか本当に悩みました。でも、死ぬ気で頑張ろうと決意したんです。その結果、社会人も含めた全日本の15位のタイムを出せて、感激しています。」

一今後の目標

「シドニー五輪選考会(6月)と、日本学生選手権(10月)に照準を合わせて調整しています。秋の国体にも出場したいですし、いつか、トライアスロンにも挑戦しようと思っています。」
中田君のさらなる活躍に期待したい。

最近のクラブ戦績

硬式野球部

阪神大学野球連盟1999年秋季リーグ戦
1部5位 3勝9敗

卓球部

関西学生卓球連盟
1999年秋季リーグ戦
男子1部 2位 3勝2敗
女子2部 1位 5戦全勝
1・2部入替戦勝利1部昇格
2000年春季リーグ戦
男子1部 5位 1勝4敗
女子1部 6位 0勝5敗 1・2部入替戦

バスケットボール部

関西学生バスケットボール
1999年秋季強化リーグ戦
男子2部 2部A5位 2勝5敗、
2部総合11位(16チーム中)
2000年春季強化リーグ戦 2部
男子2部 1勝5敗

バレーボール部

関西男子学生バレーボール連盟
1999年秋季リーグ戦
男子1部 8位 3勝6敗
阿南卓 猛打部門1位・スパイク部門2位
関西女子大学バレーボール連盟
1999年秋季リーグ戦
女子2部 8位 0勝7敗 3部降格

ソフトボール部

関西学生ソフトボール連盟
1999年秋季リーグ戦
男子1部 0勝5敗 2部降格
2000年春季リーグ戦
男子2部 2部B1位 3戦全勝、2部決勝トーナメント2回戦進出 1部昇格

サッカー部

関西学生サッカー連盟
1999年秋季リーグ戦 2部B
2部B 8位 2勝5敗2分、入替戦2勝0敗 2部残留
2000年春季リーグ戦
2部A 6位 2勝3敗4分

空手道部

第43回全日本大学空手道選手権大会
男子団体ベスト8、女子団体ベスト8
第34回関西学生空手道個人選手権大会
男子中量級2位 松田庄平(経4年)
女子重量級3位 平石さやか(法3年)
男子軽量級ベスト8 曾根基樹(経4年)
坂本諭司(法4年)
女子重量級ベスト8 藤本友紀子(経2年)



ラグビー部

関西学生ラグビーフットボール協会
リーグ戦(1999年秋季)
D2リーグ 8戦全勝1位、D4リーグ1位、Dリーグ総合1位、
CD入替戦 Cリーグ昇格

アメリカンフットボール部

関西学生アメリカンフットボールリーグ戦(1999年秋季)
Div E 3位 2勝2敗

テコンドー部

全日本学生テコンドー選手権大会
団体戦 優勝
個人戦
相原儀雅(経4年) 男子フライ級 優勝
樋口清輝(経1年) 男子バンタム級 優勝
小寺昭子(法2年) 女子フインフライ合同級 優勝
第14回アジアテコンドー選手権大会
(2000年5月13日~16日)
相原儀雅(経4年) 男子フライ級 準優勝
樋口清輝(経2年) 男子バンタム級 3位
中須賀真一(法4年) 男子ライト級 2回戦進出
小寺昭子(法3年) 女子フライ級 ベスト8

サンボ部

1999年度第25回全日本アマチュアサンボ選手権大会
岡 康悦(経2年) E57kg級 優勝
白石大亮(経1年) E57kg級 優勝

陸上競技部

第36回関西学生学年別陸上競技選手権大会
中田滋夫(経3年)1500m決勝1位、800m決勝2位
全日本ひわゆ湖クロスカントリー大会
男子2部 中田滋夫(経3年)4000mの部2位

大阪経済法科大学

校友会報

OSAKA UNIVERSITY OF ECONOMICS AND LAW



CONTENTS(目次)

活躍する卒業生	2
事業報告・校友会支部規程	5
支部報告	6
大学の近況	10
卒業生からのメッセージ	14
在学生の活躍	16





和歌山県立箕島高校常勤講師

武田寿代さん
1997年法学部卒業

予期せぬドクターストップで人生の岐路が突然やってきた。



武田さんにとって大学の4年間は、「苦しくて辛かった時期」であり、同時に多くの人との関わりの中で人生の進路を見つけたことができた充実の時期でもある。武田さんが本学に進んだのは、「思いきり空手がしたい」として「強いところで自分がどこまでできるか試したかった」から。国体やインターハイで活躍した選手が多く、空手部のレベルは想像以上だったが、武田さんは「強くなりたい」と一心でがむしゃらに練習に打ち込んだ。そして2年生になってようやく試合のメンバーに選ばれる。

しかし、突然のドクターストップ。たまたま行った献血で持病が見つかり、運動制限がかかってしまう。生きがいと言ってもよかった空手に「全力で打ち込めなくなってしまった」。まさに天国から地獄。「いろんな感情」を味わい、葛藤した。それでも「投げやりにはならなかった」。それまでは「自分が強くなりたい」と頑張っ

きたが、これからは「教える」側になろうと「方向転換」。「地元・和歌山の高校で先輩たちに空手を教えられたら」と「新たな夢」に向かって動き出した。

3年生からは教職課程をとり、無理をしない程度に空手も続けながら、勉強に励む毎日が始まった。心の支えになったのは「周囲の人の姿」だった。試合で輝いている空手部のチームメイトや人間味あふれる先生や職員。それぞれの立場で頑張っている人の姿を見たとき「自分もそうありたい」と素直に思った。空手部の監督、ゼミの先生、教務部の先生、いろんな人にアドバイスをもらい、相談に乗ってもらった。1単位足りず、卒業後も科目等履修生として半年間大学に通わなくてはならなくなったときも暖かく関わってくれた。そうやって応援してもらったことが、自分が先生となった今の「ひとつの理想になっている」という。「生徒たちが頑張ろう、楽しもうと自分で思える力をちょっとでも分けてあげることができたらと思う。私が大学でそれをもたらしたから。そのためには、まず私自身が頑張らないと(笑)」。「生徒がかわいいくてしょうがない」。毎日「コミュニケーションがいっぱいある」から、忙しくてもしんどさは感じない。今はまだ講師だが、教員となってクラブで空手を教えたいという目標はいつも胸に秘めている。

絶品の1000円豆腐

石川県は白山の麓、白峰村に一丁1000円もする豆腐がある。有機肥料で育てた無農薬の国産大豆でつくられるその豆腐は、食べると大豆の甘味が口いっぱいに広がる。素材にうるさい老舗旅館などから「ぜひ使いたい」と引き合いがあるというから、その味は折り紙付き。この絶品豆腐の生みの親が、自称『革命的豆腐屋』山下浩希さんである。

山里の豆腐屋さんが出発点

店は白峰伝統の堅豆腐(縄で縛って持ち運べるほどカタい豆腐)をつくってはいるものの単なる街の豆腐屋さんには過ぎなかった。しかも冬は厳しい雪に覆われる「山里」というロケーション。家業を継いだものの「あと40年。60歳になるまでここで働くこと



株式会社山下ミツ商店 代表取締役

山下浩希さん
1984年法学部卒業

一丁1000円の豆腐で新たな道を切り開く 自称『革命的豆腐屋』

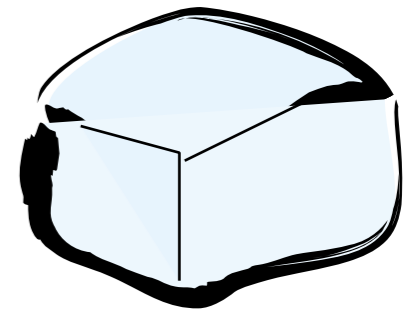
を考えると、このままではやっていける気がしない」と危機感を抱き、新しい商いの道を模索するようになる。

勝負できる豆腐づくりに挑戦

コンセプトは『本来の豆腐』。大量生産された柔らかくて水っぽい豆腐とは対極にある豆腐だ。まずは勝負できる素材を集めた。しかし、何度やっても失敗。せっかくの素材が次々に無駄になっていく。試行錯誤を繰り返す日々。そしてその日は突然やってきた。すべての要素がピタリとはまり、念願の豆腐が完成した。足掛け5年がたった。

新しいカテゴリーを確立

1000円という価格はいい素材が欲しいとこだわった結果だが、この常識はずれの価格がはからずも新たな道を切り開く鍵となった。商品化すると評判が評判を呼び、グレードの高いプレミアム豆腐というこれまでになかったカテゴリーを確立することに成功した。家業を継いで14年目の97年、個人商店から株式会社を設立。99年には本学後輩の鷲見昌規君が入社。今、山下さんは新しい仲間と一緒に次の『革新』を画策している。



支部報告

HIROSHIMA

校友会広島支部

支部長 柘田博昭

平成11年10月16日(土)、広島市中区のリーガロイヤルホテル広島において、校友会広島支部設立総会が、会員多数出席の下開催されました。

開学30年を目前に、各地区において校友会組織の基盤整備もようやくできてきたということで、いさか遅きに失した感がありますが、我々卒業生にとっては、本当に心待ちにしていた校友会設立でありました。

思い起こせば、昭和47年頃、先輩諸兄10名余で結成された「広島県人会」が、現在では1,200名に及ぶ会員を擁する「校友会広島支部」にまで発展し、当時を知る先輩方のお喜びもひとしおのものであろうかと拝察致します。



このたびの広島支部設立を機に、卒業生はもとより在学学生を含んだ強い結束の下、親睦を図り、愛校心に基づいた母校発展に対する支援ができるものと信じております。

校友会発展は、各支部の活発なる活動からなるものであり、母校が内外とも胸を張って誇れるものへと発展されることを支部会員心から期待し、祈念するものであります。

広島支部 役員名簿

支部長	柘田 博昭	3期生	1976年度卒	広島県歯科医師会
副支部長	橘高 功	3期生	1976年度卒	
副支部長	政宗 正章	8期生	1981年度卒	アサヒビール(株)広島支社営業部副課長
支部幹事	木梨 寛洋	4期生	1977年度卒	(株)ナニワ商会
支部幹事	中原(戸野広)直行	6期生	1979年度卒	ブックセンター中原
支部幹事	上田 富男	7期生	1980年度卒	
支部幹事	海田 世幸	8期生	1981年度卒	ふるさと別館
支部幹事	久谷(谷)おり	11期生	1984年度卒	清水ヶ丘高等学校教諭
支部幹事	井本 浩嘉	14期生	1987年度卒	丸一鋼管(株)広島事務所
支部幹事	西川 和宏	19期生	1992年度卒	広島毎日広告社
支部幹事	可山 博之	19期生	1992年度卒	ショウワノート(株)大阪支店
支部幹事	山本 洋次	22期生	1995年度卒	杉本商事(株)
支部幹事	末石 裕章	24期生	1997年度卒	広島市農業協同組合
支部幹事	岩田 通男	24期生	1997年度卒	広島ゼロックス(株)福山営業所
支部会計監査	田之上賢治	15期生	1988年度卒	内田油圧機器工業(株)

支部報告

OKINAWA

校友会沖縄支部

支部長 具志堅 充彦

昨年9月に、待ちかねていた大阪経済法科大学校友会沖縄支部設立総会が会員多数出席の下、開催されました。思えば、在学中奄美沖縄会を結成しソフトボール大会をしたり、焼酎を飲みながら故郷の話をしたことが昨日のように思い出されます。また、参加されなかった友人達や大学時代お世話になった先生方の顔が思い出され楽しい一日でした。

開学30周年を迎えるに当たり、校友会沖縄支部結成を初め各地区に校友会組織ができた事によって、沖縄にいながら疎遠になっていた先輩や後輩達と親交を温めることができるようになり、うれしく思っています。しかし、連絡が取れなかったり、行き違いがあって参加できなかった卒業生もいました。今年は、そういうことのないように早めに案内状や新聞広告等

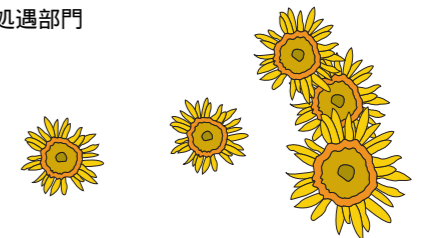


の広報を行い、多くの卒業生・在学学生に参加してもらえようと考えています。

在学学生にはいろんな情報を得られる場に、また卒業生は楽しい親睦の場になるような沖縄支部にしたいと思っています。今年も9月中旬に沖縄支部総会開催を予定しています。

沖縄支部 役員名簿

支部長	具志堅充彦	8期生	1981年度卒	(有)具志川観光開発レンタカー事業部エックス
副支部長	砂川 豊蔵	9期生	1982年度卒	(株)アクタス産業代表取締役
副支部長	安富祖 聖	13期生	1986年度卒	JAやんばる並里出張所
支部会計	嘉数 武	19期生	1992年度卒	国場腰痛センター
支部幹事	照屋 幸秀	8期生	1981年度卒	沖縄刑務所処遇部処遇部門
支部幹事	仲程 孝之	18期生	1991年度卒	
支部幹事	仲間 健治	18期生	1991年度卒	
支部幹事	平安宗栄彦	23期生	1996年度卒	



支部報告

AICHI

校友会愛知支部

支部長 中町守人

卒業して早くも約26年が過ぎようとしています。学生時代の事や大学の事も、忙しさに追われて思い出すことも少なくなった時に、昨年10月に校友会愛知支部を設立するので、参加してほしいと電話があり、ぜひ参加させていただきますと返事いたしました。

私は、1期生で大阪経済法科大学を卒業させていただいたのは今は喜びと感じています。なぜなら、私には先輩はいないけれども、すばらしい後輩が後に続いているからです。

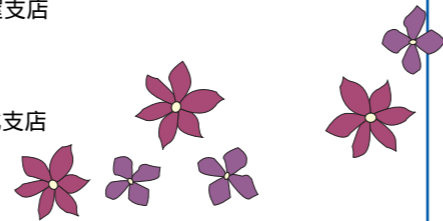
校友会設立から約半年以上が過ぎようとしています。今年の7月頃には、愛知支部で連絡を取り合って食事でしよう



と思っています。まだまだ連絡の取れない人がたくさんいますので少しでもみんなで協力して楽しさ、なつかしさいっぱい愛知支部にしたいと思います。よろしく願いいたします。

愛知支部 役員名簿

支部長	中町 守人	1期生	1974年度卒	(有)中町印刷
副支部長	岡 芳紀	11期生	1984年度卒	小山(株)課長
副支部長	神戸 剛	11期生	1984年度卒	フルエング(株)常務取締役
副支部長	二村総一郎	13期生	1986年度卒	(有)まぐろ小屋代表取締役
支部幹事	大中 誠一	9期生	1982年度卒	(有)三河ソーケン
支部幹事	藤村 良二	7期生	1980年度卒	(社)愛知県自動車整備振興会
支部幹事	岸 泰至	12期生	1985年度卒	(株)愛洋産業
支部幹事	大谷 彰	14期生	1987年度卒	味の素(株)名古屋支店
支部幹事	近藤 滋之	14期生	1987年度卒	(株)愛洋産業
支部幹事	石井 淳	16期生	1989年度卒	(株)愛洋産業
支部会計監査	稲山 泰志	18期生	1981年度卒	瀬戸信用金庫城北支店



支部報告

KAGAWA

校友会香川支部

支部長 石塚 央

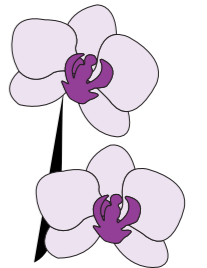
校友会香川支部も昨年9月18日に発足し、月日が経つのも早いもので、早や1年が過ぎようとしています。しかしながら、まだ設立したばかりでもあり、十分な活動はできておりません。香川県出身の卒業生も約500名を数えるまでになり、現在組織作りと会員数の増加を推進しているところでもあります。

今後は、会員同士の連携を保ちつつ、更に団結を深め、母校と他支部との情報の交換や連携を密にし、皆様方のご支援・ご協力を得て、充実かつ存在感のある支部作りを目指したいと考えております。



香川支部 役員名簿

支部長	石塚 央	6期生	1979年度卒	福山通運(株)大野原営業所
副支部長	西川 隆二	9期生	1982年度卒	西川急配
支部幹事	中村 博寿	7期生	1980年度卒	(株)藤田商店
支部幹事	松本 規	7期生	1980年度卒	ネットヨタ香川(株)
支部幹事	富原 廣文	9期生	1982年度卒	巢一致
支部幹事	久保 学	13期生	1986年度卒	さぬきワイン(株)
支部幹事	福田(松本)直樹	14期生	1987年度卒	中商事(株)
支部幹事	平 好伸	18期生	1991年度卒	四国バック(株)
支部幹事	岡部 利次	20期生	1993年度卒	JA多度津町
支部幹事	橋川 博	20期生	1993年度卒	高松仮設(株)
支部幹事	久木田 隆	21期生	1994年度卒	丸亀市消防本部
支部幹事	坂東 孝典	21期生	1994年度卒	鎌長製衡(株)
支部幹事	高橋 晋也	23期生	1996年度卒	DSJ高松支店
支部会計監査	上田 英雄	6期生	1979年度卒	善通寺市役所





行事・出来事編

「大阪経済法科大学フェア」開催

98年度に続き、99年度も本学を総合的・多角的に紹介するイベント「大阪経済法科大学フェア」が3カ所で開催された。

KEIHO IN 高松(9/18) - フェアの皮切り

香川厚生年金会館にて開催された「KEIHO IN 高松」では、本学アジア研究所客員教授・衆議院議員の仙谷由人氏を招いての文化講演会を実施し、総勢約70名の参加者が国会活動を通じて実感する同氏の21世紀を担う若者像などの話に耳を傾けた。

その後は、父母懇談会、校友会香川支部設立総会、進学相談会などが並行して実施され、のべ100名余りの参加があった。

KEIHO IN 名古屋(10/2) - NHKテレビ番組出演の近藤正昭先生による講演



名古屋でのフェアでは、「おもしろ法律百科」と題して、本学法学部客員教授で弁護士の近藤正昭氏による文化講演会を行った。NHKのテレビ番組にもレギュラー出演している同氏は、豊富な実

践経験を交えて愉快な話を繰り広げ好評を博した。

その後、父母懇談会、校友会愛知支部設立総会と続き、懇親パーティーで締めくくりとなった。

KEIHO IN 広島(10/16) - 最高ののべ140名が参加

98年に続き2回目となった「リーガロイヤルホテル広島」でのフェアには、今回最高の140名が参集した。岩國哲人氏による「発想の転換」と題する文化講演会では、ビジネス界での経験を生かした出雲市長としての施策を紹介しながら規制緩和、地方分権時代の行政改革について話され、好評を博した。

また父母懇談会にも約70名が出席し、本学教職員との熱心な懇談、面談が続いた。

公開授業討論会



1999年度教務部では、「授業改善」を重点課題として掲げ、「経法大の新しい授業」作りを提唱してきた。その一環として、3回にわたり学生・教職員による公開授業討論会が行われた。(学生諸君の学年は当時のまま)

6月15日、第1回公開授業討論会「経法大の授業は分かりやすいか」は6500号教室で行われ、学生129名、教職員23名の計152名が参加し、活発な意見交換が行われた。

10月26日、第2回公開授業討論会「春学期学生授業評価アンケートを踏まえて」は、春学期末に実施された学生授業評価アンケートの結果が報告され、木村惇法学部教授、朱東平経済学部助教授と吉光孝治さん(法学部・4年)、榎田宣文さん(法学部・3年)、大森富和さん(経済学部・4年)が古川利通教務部長の司会のもと具体的な論議を行い、フロアーからも意見が出され、授業の改善に向けて論点が整理されたといえる。

11月22日、第3回公開授業討論会「経法大の授業は分かりやすいか 一緒に創ろう経法大の授業」は、兵庫県教育研究所主任指導者吉田和志先生の「分かりやすい授業とは」と題する基調講演のあと、荒岡作之教養部教授、川村洋次経済学部講師(現在助教授)、森川隆法学部講師が各自の授業についての報告、嶺政孝さん(経済学部4年)、溝渕丈史さん(経済学部3年)、高誠辰さん(法学部4年)、井上哲郎さん(法学部4年)、島本真有さん(法学部2年)がそれぞれ、授業に対する提言を行った。この討論会を契機として、授業改善に向けた注目が高まっており、成果が期待される。

第28回経法祭開催
1999年10月31日～11月3日、
テーマは『このゆびとまれ』

子供が「かくれんぼ」や「オニごっこ」(最近TVゲーム?)をする、そんな感じで人が集まるお祭りにしたいのです。(赤木一憲実行委員長「経法祭バンフより」)

10月31日～11月2日の3日間は、前半の雨のため屋外企画が変更になるなど、出足にも影響を与えたと思われる。にもかかわらず4日間を通して、延べ4,950名の参加があり、例年並の動員数だった。各企画の努力が実を結んだ結果といえるだろう。

「連日の雨の下、ステージ企画のメンバーは、空模様を窺いながらプログラムを進行していました。そして最終日、ステージに設置していた放送用機材が、とうとう故障(!!)し、急速、拡声器を使うというハプニングもありました。でもaikoのコンサート終了と同時に、経法祭初の打ち上げ花火を空に放ち、祭りの最後を締めくくられたことは忘れられない思い出です。」(多田貴彰(法4年)実行委員談)



第26回卒業式

快晴のもと、第26回卒業式が2000年3月18日本学総合体育館「尚淑館」で挙行された。経済学部448名、法学部476名の卒業生が晴れて社会へと巣立っていった。

卒業生代表挨拶に立った法学部の中立晃代(学部総代・学長賞受賞)さんは、「母校に恥じないよう一生懸命生きていきます」と決意を語った。

その後キャンパス各地で在学生主催の卒業祝賀行事が開催され、学生生活最後の一日をにぎやかに送る姿が各所で見受けられた。

第30回入学式

2000年4月3日、第30回入学式が本学総合体育館「尚淑館」で挙行された。各学部の新入生代表の宣誓に続いて、式辞に立った中西健一学長は、「大学教育の目的は課題探求能力の開発・育成であり、自ら課題を見つけ、学び、考え、よりよく問題を解決する能力を養うこと、そしてそれを通じて優れて個性的なアイデンティティを形成して下さい」と述べ、新入生を激励した。

式後は在学生諸団体による新入生歓迎行事が繰り広げられ、桜

満開のキャンパスでは保護者も加わって、にぎやかなイベントやゲーム大会が続いた。

フレッシュマンキャンプを初めて実施
琵琶湖湖畔で1泊2日の新入生合宿研修



はじめての試みとして、経済学部、法学部それぞれの学部ごとに新入生全員参加の「フレッシュマンキャンプ」を入学式直後に滋賀県大津市の大津プリンスホテルで行った。

法学部は2000年4月4日・5日、経済学部は4月7日・8日のそれぞれ1泊2日の日程で、基礎演習の担当教員、職員、ゼミやクラブの上級生の学生スタッフらとともに泊り込みで履修ガイダンス、学生生活オリエンテーションを行った。この合宿研修で新入生が学習の成果を上げ、スムーズなキャンパスライフのスタートを切ることができた。

大学近辺から観光バスで大津へ出発し、車中の自己紹介からはじまり、ガイダンスとクラス懇談会を重ねるうちに、教員、学生スタッフ、新入生同士の親睦が深まり、大きな成果のうちに2日間の日程を終了した。両日の参加者がそれぞれ500名を超える大規模な行事であったが、新入生にとっては忘れられない貴重な機会となったといえる。

八尾市との間で市民参加の「リレー講義
(公開講座)がスタート
「行政マンが語る八尾の現在と未来」

2000年3月17日、八尾市との間で「八尾市政及び八尾の産業に関する公開講座の実施に係る八尾市及び大阪経済法科大学との覚書」が締結され、春学期から法学部の「法律学特殊講義A—行政マンが語る八尾の現在と未来」に八尾市職員を講師に招くことが可能となった。4月12日の初日の講義には公募された一般市民と学生約70人が参加した。

また秋学期には「企業論特講—国際化・情報化の中の企業経営と産業振興」に八尾所在の著名企業の経営者や八尾市の職員を招いて引き続き市民参加の公開講座としていくことが決まっている。

国際交流編

韓国・慶尚大学校と学術及び教育協定を締結

大阪経済法科大学は、1999年6月4日、韓国・慶尚大学校と「学術及び教育協定」を締結した。朴忠生総長をはじめとする4名の慶尚大学校代表団が大阪経済法科大学を訪問し、朴総長と中西健一学長が同協定に署名した。

慶尚大学校(所在地:韓国慶尚南道晋州市)は、1948年創立、1968年に道立から国立に移管された10単科大学・71学科、学生約1万8千人を擁する総合大学である。同大学は、教育大学院に韓国の国立大学では唯一の日本語教育専攻を持ち、日本との学術交流にも積極的に取り組んでいる。

今回の協定締結により慶尚大学校と教職員の往来、留学生の交換などを行っていく予定である。

大阪経済法科大学と崇実大学校「第5回国際学生交流セミナー in OSAKA」を本学にて開催



韓国・崇実大学校との共催による「国際学生交流セミナー」も第5回を迎え、1999年6月27日から7月3日までの6泊7日間、本学にて開催された。総勢23名(経法大11名、崇実大12名)の学生たちが寝食を共にし、身近にふれあい、心と心が通い合う交流を実現した。

この度のテーマは「日本と韓国の歴史観対比 人物から理解する歴史」と題して、特に『伊藤博文と安重根、安重根と日本人との交流』を軸に、視察旅行も宮城県まで足を延ばし、その事実の足跡をたどりながら学習した。

基調講演は、「21世紀の日韓両国における近現代史の重要性」をテーマに神戸学生青年センター館長、飛田雄一先生より近代以降の日韓に関する史実に基づき、日韓の若者が近現代史を学ぶ重要性を語っていただいた。

韓国・梨花女子大学校と学術交流協定及び学生交換プログラムの締結



本学は、韓国での大学評価で上位にランキングされ、女子大学としては世界でも唯一の総合大学である梨花女子大学校と、1999年9月9日学術交流協定を締結した。また、同時に梨花女子大学校国際教育院と本学国際部による学生交換プログラムも締結し、相互の交換留学が可能になった。

この度の梨花女子大学校との交換プログラムは、女子大学校だが、女子学生に限らず男子学生も留学が可能なプログラムになっている。梨花女子大学校は、世界中から積極的に交換留学生を受け入れるため、男子学生も入居可能な国際交流宿舎を新築し、国際教育院では英語や韓国語による授業プログラムも備え、男女の隔てなく受け入れを推進している。

オーストラリア グリフィス大学 協定留学プログラム



第1回オーストラリア・グリフィス大学への協定留学プログラムの参加者9名が、1999年10月8日、4ヶ月間の留学のため関西国際空港から旅立った。

長い空の旅を終え、翌9日早朝にブリスベン国際空港に到着した彼らは、やや疲れ気味ではあったものの、期待と不安が入り交じった表情を見せながら、グリフィス大学の手配で、それぞれのホームステイ先に向かい、早速現地での生活をスタートさせた。

彼らが学ぶグリフィス大学は、1971年に創立された9学部からなる総合大学であり、「サンシャイン・ステート」と呼ばれるオーストラリアの中でも1年中温暖で自然に恵まれたクィーンズランド州の州都であるブリスベン郊外に位置している。

ロンドン大学東洋アフリカ学学院と学術交流協定を締結

大阪経済法科大学は、1999年11月5日、英国・ロンドン大学東洋アフリカ学学院(SOAS)と学術交流に関する協定を締結した。ティム・ランケスター院長が本学を訪問し、中西健一学長と共に協定書に署名した。ロンドン大学は、本学の英国における初めての提携校となった。

ロンドン大学は、1826年創立、英国におけるケンブリッジ大学、オックスフォード大学につぐ伝統を誇る大学。東洋アフリカ学学院は、そのロンドン大学内の総合カレッジで1916年に創設された。同学院は、「東洋・中東・アフリカ学」をはじめ多くの分野の教育・研究で英国においても高い評価を得ている。今回の協定締結により2000年度協定留学プログラムとしてロンドン大学東洋アフリカ学学院への5ヶ月留学派遣を実施することになっており、その他にも国際会議、シンポジウムの開催、研究者・学生の交換などの学術交流を開始していく予定である。

浦項工科大学校情報通信研究所と学術交流協定を締結

大阪経済法科大学科学技術研究所は、1999年11月17日、韓国・浦項(ポハン)工科大学校情報通信研究所と学術交流に関する協定を締結した。南光熙情報通信研究所長をはじめとする浦項工科大の代表団が本学を訪問し、南正院本学科学技術研究所長と共に協定に署名した。

浦項工科大学校(所在地:韓国慶尚北道浦項市)は、世界第2位の規模を誇る浦項鉄鋼会社の援助を受けて、1986年に創立された。22の研究所・研究センターを持ち、約2500人の学生が学ぶ、最先端の教育・研究を誇る大学。その中でも情報通信研究所は情報通信とその管理分野の研究のため1991年に設立された。



創立30周年記念マーク

2001年4月の本学創立30周年に向けて記念マークが制定された。

3本のやわらかなカーブラインは大学の歴史と未来を表す。大海を目指すたおやかな川の流れ、ユニークな感性としなやかな知性、21世紀に臨む上昇気流の始まりをイメージしたものである。

施設編

キャンパス内の新たな憩いの場「ふれあい池公園」



本学は、大学キャンパスの本部棟に隣接する通称・島池を八尾市財産区から譲り受け、池周辺の整備工事が完了し、水と緑に囲まれた憩いの空間「ふれあい池公園」として1999年10月29日にオープンした。

池周辺にはウッドデッキ、ベンチを配置し、さくら、はなみずき、菖蒲やかきつばたといった四季折々の草花が植栽され、学生・教職員・市民の皆さんが歴史的な環境の中で自然とふれあえる場となっている。

2000年3月27日には、ニホンバラタナゴがふれあい池に放流された。ニホンバラタナゴは、バラにその姿が似ていることから名付けられた魚で、八尾市保存魚に指定されているが、近年減少し、絶滅が危惧されており、今回ふれあい池の竣工を機にその繁殖を目指すことになったものである。

「ISD花園」開所式

本学での初めての本格的留学生宿舎である「ISD花園」が完成し、2000年3月8日、開所式が開かれた。

ISD花園は、4階建て全41室がすべて個室で、冷暖房に加えベッドや学習机も完備されている。名高い花園ラグビー場の至近にあり、食堂・集会場、談話室なども設置された。

99年度より実施した、本学の海外現地留学生入試による留学生が中心に入居している。日本での学生生活を円滑にスタートできるよう寮費も廉価に抑えるなど、数々の配慮がなされている。

スクールバス発着場が4月に移転

2000年4月新学期にあわせて、本学のスクールバス発着所が体育館側大学構内に移転した。移転先はグラウンド南東の旧教職員専用駐車場。新スクールバス発着場からは大阪平野を一望することができ、大きなテント屋根によって晴雨に関わらず快適な利用が可能になった。



卒業生からのメッセージ

校友会事務局に寄せられた卒業生のメッセージのごく一部を紹介する。

2期生 白戸(旧姓・石川)光子

2期生 白戸(旧姓・石川)光子 1975年度法学部卒業 考古学研究会 姉妹で同大学を卒業。素晴らしく発展された大学を誌面で拝見して、妹と当時の学生時代の思い出話に話が弾みました。校友会設立おめでとうございます。

3期生 杉村 清 1976年度経済学部卒業 暑さ厳しき折ですが、元気に過ごしています。昨年テレビに大学の体育館が出たときは、いものができたと思います。

3期生 金井 勝芳 1976年度法学部卒業 遠距離だけに学校の情報が入りにくいが、時々「リベラ」誌面でスポーツ等で活躍しているのが楽しみです。

5期生 兼光 信行 1978年度法学部卒業 硬式野球部 OB、OG、現役の皆さん良く頑張っていることとっています。私も元気に頑張っています。大学の為に何かできればと思っています。

6期生 山本 進 1979年度法学部卒業 業務多忙により積極的な参加は無理ですが校友会が情報交換等のよりよい組織になることを期待しています。また、会費については現行が、できるだけ低負担になるようにお願いします。

7期生 金子 雄二 1980年度経済学部卒業 ハレーボール部 元気で頑張っています。第2子が7/28生まれました。(女の子です)

7期生 岸本 昌之 1980年度法学部卒業 ふわいあの里学園は不登校生のための学校です。楽しく学習をしたり、遊んだりして、子供たちの世話をさせてもらっています。

7期生 松本 規 1980年度法学部卒業 トヨタ車の販売をして早18年になりました。ただ今2000台に向けて頑張っています。

7期生 岡嶋(旧姓・茗荷)篤幸 1980年度法学部卒業 現在、住友生命鳥取支社で元気に頑張ってます。(単身赴任5年目)そろそろ転勤になるかも?時々会の報楽いみじいております。最後になりましたが校友会設立おめでとうございます。

7期生 和田惠都子 1980年度法学部卒業 残暑きびき頃、皆様以下がお過ごしでしょうか。校友会設立にあたりお世話になりました。会報とても楽しみにしております。大阪経済法科大学の名を新聞の広告で目にするたび、うれしく思っております。これらもお世話になります。よろしくお願いします。

8期生 瀧川 裕史 1981年度経済学部卒業 一生懸命に自営業を手伝っています。家はお風呂屋です。

8期生 兵屋 良司 1981年度法学部卒業 波瀾万丈の人生を送り、何日目の転勤で、本人の希望とは裏腹に営業の仕事をしています。経理の仕事があればいつでも転職したい。人生様々、とかくこの世はままだらぬ。

9期生 高松 和哉 1982年度法学部卒業 豊かな時代に学生生活を送った日々がなつかしく、管理職となった今は経法大卒の誇りを持って頑張っております。

10期生 高橋 義彦 1983年度経済学部卒業 無事に務めて16年。いつのまにやら経法大卒5名仲良くやっています。

10期生 上原 由乃 1983年度法学部卒業 福山市にも多くの卒業生がおられます。積極的に協力していきたいと思いますので宜しくお願い致します。

10期生 山下 浩希 1983年度法学部卒業 弊社に今年4月から経済学部卒の驚見くんが入社し一緒に頑張っています。大学校友会の発展を白山の麓からお祈りします。

11期生 森(旧姓・松山)和弘 1984年度経済学部卒業 大学生生活が懐かしく、異人会がでないかと願っております。

11期生 井堀 亀吉 1984年度経済学部卒業 美術研究会(美術部) 転勤が多く卒業以来大学のことを忘れておりましたが、校友会の発足により、会及び大学の発展を心より希望致します。

11期生 前田 誠道 1984年度経済学部卒業 前回の大阪経済法科大学校友会に参加させてもらいうれしく感じしており、名古屋での総会も期待しております。多数の参加を願うと同時に大学のOBとして再会と総会の発展を希望します。

11期生 三井 清史 1984年度経済学部卒業 今(1999)年1月に友達と一緒に久しぶりに日曜日に大学に行ったが、昔と変わっていないところを探すのに大変なくらい変わってびっくりした。特に体育館には驚いた。でもあまり使っていないような気がした。私も今年から独立してオーナーとして頑張っています。大学もすばらしいものをきずってください。

11期生 嶋山 修作 1984年度法学部卒業 大学を卒業して教職に現在就いていますが、自分の母校に対する思いが今も忘れず、学生時代を思い出すことがあります。多くの法学の先生との思い出は忘れなれないと思います。

12期生 畑中 誠 1985年度経済学部卒業 元気で頑張っています。今の若い人たちと一緒に仕事をして、世代のギャップを感じていま

す。色々な会があったら一度行ってみたいですね。

12期生 安藤 俊晴 1985年度経済学部卒業 中学校の教諭になって11年目です。中堅といわれる年齢になってきました。まだまだ未熟者ですが、頑張りたいと考えています。

12期生 澤田 壽志 1985年度法学部卒業 小中学校、高等学校用の教科書を中心に出版している会社で働いています。今後仕事に邁進していきたいし、もちろん私生活も大切にして、大学の発展を心よりお祈り致します。

13期生 上 正則 1986年度法学部卒業 校友会設立おめでとうございます。卒業後10年間会社勤務し4年前より、家業の支店として独立開業し現在に至っております。私の実兄(上 浩二・昭57法卒)も卒業生で、私同様の商いを営んでおります。

13期生 坂井 繁之 1986年度経済学部卒業 校友会は障の力となって大経法大のネームバリューを高めていってほしい。
13期生 大西 啓之 1986年度経済学部卒業 金融証券研究会 総会に参加し感激しました。

13期生 浦田 範夫 1986年度経済学部卒業 ハレーボール部 卒業後も近くに住みながら足を運ぶことも少なく申し訳なく思っています。青春の一部であるハレーボール部及び体育会本部の発展を祈ります。集まりの際は是非声をかけて下さい。

13期生 嶋山 仁 1986年度法学部卒業 東洋哲学研究会 最近仕事が忙しい日々が続いています。又、是非、機会があれば参加して一度大学にも行きたく思っております。

13期生 小原 泰次 1986年度法学部卒業 平成11年度堺市功労賞を受賞しました。

13期生 杉本 昌昭 1986年度法学部卒業 司法試験や公認会計士試験に合格された方などの体験談や勉強方法などを校友会報などを通して広く世間に知らせて欲しい。

14期生 佐久間 紀 1987年度経済学部卒業 野球部の発展を祈念しています。

14期生 奥野 昌紀 1987年度経済学部卒業 フォークソング部 業務用酒販店をしながらH9よりコンビニをしていますがあまり時間に余裕はないのですが、支部結成には大賛成ですからできる限り協力します。

14期生 広田 英一郎 1987年度経済学部卒業 リゾートホテルに勤務して10年になりました。

14期生 田口 世紀 1987年度法学部卒業 営業所開設に当たり仙台に転勤となり、8年目です。忙しく営業に走り回っており、つい大学のご事は忘れがちですが、大学からの便りを見ると昔を思い出します。

15期生 和泉 尚伸 1988年度経済学部卒業 ユースホステル部 現在一般企業の人事専門職に就いていますが、母校の校友会には数少ない貴重な場として参加したく思います。

15期生 岩瀨 浩史 1988年度経済学部卒業 昨年3月に「とんかつKYK」を自己都合により退職後、約半年ほど失業同然の日々を送ってました。その後アルバイトとして洋惣菜店のコックをしておりましたが4月に退職、5月より正社員のコックとして「オムライスの北極星」にて日々頑張っております。京橋京阪モールB1にて勤務していますので、宜しければお立ち寄りください。

15期生 岩本 正史 1988年度法学部卒業 剣道部 設立総会、盛大に終わり誠にありがとうございます。遠方に居ますので支部結成には大賛成です。費力ながらご協力したいと思します。

16期生 岡村 知宏 1989年度経済学部卒業 長野県でも卒業生懇談会を是非お願いします。(上田高砂殿で)

16期生 田部 俊雄 1989年度経済学部卒業 当日出張のため申し訳ありませんが欠席させていただきます。校友会とのこと大変うれしいことですが、人のためとつながりをこれからはもっと大切にしていけるよう、協力したいと思います。

17期生 鎌田 啓志 1990年度経済学部卒業 私は現在医療法人三上会老人保健施設カリス東香里で介助員をしておりますが、皆さんの祖父母さんや父母の事でご困りの方がいらっしゃればご相談下さい。

17期生 秋山 博則 1990年度経済学部卒業 校友会結成、設立おめでとうございます。又、役員の方々たいへんですが、遠方より応援しています。卒業して9年、経法大卒ということを誇りに持ち、国家と社会に奉仕しています。

17期生 宮本 晋作 1990年度経済学部卒業 東洋哲学研究会 アメリカのロサンゼルスの方で今仕事をしているので出席できません。

17期生 岡村 弘幸 1990年度経済学部卒業 会社は休日が少ない上に、従業員が減って、忙しい日々を送っています。(酒屋さんとの連絡に追われています)

17期生 橋本 慶子 1990年度経済学部卒業 いつもお手紙送って頂きありがとうございます。都道府県支部も大切だと思いますが、しばらく会っていない同じゼミの人たちにも会ってみたいとつくづく思います。

18期生 青木 剛 1991年度法学部卒業 H9年に岡山県警を退職して同年4月より岡山山陽高校の社会科の教員(教諭)として働いております。母校で取得した教員免許が役に立ち、大変感謝しております。

17期生 川口 尚二 1990年度法学部卒業 校友会の承認おめでとうございます。不景気の中暗い話が多いですが、卒業生にとって明るい話となるでしょう。皆さん不景気の中、互いに頑張りたいです。

17期生 井上 充央 1990年度法学部卒業 ネットヨガ南海からソニー生命に転職し1年がたちました。医療のこと給付金のこと税金のことなんでも相談下さい。

17期生 佐藤 慶一郎 1990年度法学部卒業 懐かしく学生時代を思い出し、機会があれば母校を訪ねてみたいと思っています。

17期生 堀内(旧姓・大平)真由美 1990年度法学部卒業 ラグビー部 自営しているので、大学生の求人も欲しいです。是非ビデオを送って下さい。

17期生 斉藤 和明 1990年度法学部卒業

校友会設立誠にめでとございます。東京方面に支部を結成して頂ければと思います。

18期生 金澤 光博 1991年度法学部卒業 鈴木直哉ゼミ 今、郵便局の第一線で主任として頑張っています。今後の大学及び卒業生の発展と活躍を心よりお祈り申し上げます。

18期生 板倉 正之 1991年度法学部卒業 杉浦一孝ゼミ 昭和63年に入学して平成4年に卒業すると同時に現在の会社に勤務しています。現在の会社に勤務して強く思うことは貴校を卒業したことを本当に誇りに思うということです。

18期生 江連 政徳 1991年度法学部卒業 紙野健二ゼミ 漫画アニメーション研究会 大会社だからいいとは限らないと身をもって実感した。現在地元企業の建設業の営業として仕事している。

18期生 小野寺 紀明 1991年度法学部卒業 卒業と同時に入社、事務員をしております。職場としては若い人の集まりですが仕事は非常にきびしいです。

18期生 川添 敬三 1991年度法学部卒業 長谷川正安ゼミ 現在、エヒメ健診協会(労働省認定サービス健診機関)にて企画課長を務めています。受診企業の紹介や能力の高い人材の紹介等、協力をお願いします。

18期生 片山 幸次 1991年度法学部卒業 池田 誠ゼミ 職場に経法大法出身の後輩が頑張っています。

18期生 日下部 泰裕 1991年度法学部卒業 古川 利通ゼミ 経法大で学んだことを誇りに思っています。当社でも5名の経法大OBが頑張っています。

18期生 河西 明 1991年度法学部卒業 西山井依子ゼミ 道部 現在、(株)毎日コミュニケーションズという、毎日新聞社系の出版社で働いています。

19期生 澤(旧姓・四方)理加 1992年度経済学部卒業 木口善康ゼミ ゴルフ部 現在は結婚して主婦しています。

19期生 常井 曉 1992年度経済学部卒業 能塚正義ゼミ 校友会設立おめでとうございます。当日JOCの事業の為出席できませんでした。地元では経法で学んだことを実践する為に仕事、生活、JOCに頑張っています。

19期生 小塩 重文 1992年度経済学部卒業 山口正之ゼミ 東京ゼネラル㈱へ入社6年、本社勤務6年目第1営業課営業課長として毎日忙しく頑張っています。

19期生 旭奈 一博 1992年度法学部卒業 名取健昭ゼミ 考古学研究会 私は研究員(できれば学者)になる夢をかねる為、大学院受験合格を目指し頑張る毎日を送っています。どの学校でもいいから、日本史や東洋史の勉強ができればと思っています。あと資金面の問題も何とかしなければと思っている毎日です。

19期生 山内 一弘 1992年度法学部卒業 名取健昭ゼミ 校友会会報等大学の現状が分かりづらいです。もっとスポーツ強くなって。**19期生 山口 剛** 1992年度法学部卒業 岩村 等ゼミ 兵庫県のように興味が広く、経済圏の山陽側、山陰側と分かれているようなところでは、1県1支部とういことでき、支部の作り方に工夫が必要なのは、先日行われた税理士試験無事終了しました。来年に向けてまた1年間頑張ろうと思います。2000年受験生向けの入試ガイド一式拝見させていただきました。資格試験等の制度も私たちの頃よりだいぶ充実しているようで今の在学生の力がたがたをとてもうらやましく思います。

19期生 足立 勝彦 1992年度法学部卒業 金子道雄ゼミ 薬品を入れるビンを作る会社で頑張っています。

19期生 仲矢 浩之 1992年度法学部卒業 長谷川正安ゼミ 硬式テニス部 卒業して6年が立ち、とても懐かしく思っています。OBとして誇りを持ち活躍したいと思っています。

20期生 前橋 弥生 1993年度経済学部卒業 面地 豊ゼミ 大学の近所の旅行会社で外回りや添乗や事務と頑張っています。

20期生 寺部 邦洋 1993年度経済学部卒業 一ノ瀬秀文ゼミ 校友会愛知県支部設立総会の盛会と今後の発展を心より願っています。校友会役員及び関係各位のご尽力に深謝。

20期生 二宮 輝光 1993年度経済学部卒業 平井正文ゼミ 仕事の関係で北京に住んでいます。海外にも支部があります。

20期生 橋川 博 1993年度経済学部卒業 福島利夫ゼミ 硬式野球部 暑いく、毎日現場で頑張っています。野球も軟式に切り替えましたが頑張ってます。

20期生 富田 一之 1993年度経済学部卒業 揚 武雄ゼミ 5年前に転職しました。以前はカーディーラーの仕事、現在は消防官とまったく違う職種ですが、毎日が楽しいです。

20期生 橋川(旧姓・嶋田)仁子 1993年度法学部卒業 田中誠一ゼミ 剣道部 今は同大学の同級生と幸せな結婚生活を送っています。第2子も妊娠中で毎日がたいへんです。

20期生 堀口 和弘 1993年度法学部卒業 藤井紀雄ゼミ 先日ゼミのセミナーに参加させて頂き、久しぶり学生気分になりました。現在はゴルフ場に勤めながら、社団法人泉南青年会議所理事兼総務委員長として奉仕活動に力を入れています。また校友会にも参加したいと思います。

20期生 村田(旧姓・松宮)幸子 1993年度法学部卒業 近藤正昭ゼミ 校友会の設立大変喜ばしいことです。支部結成是非お願いします。

20期生 浅野 知子 1993年度法学部卒業 及川 伸ゼミ 90L623相良修君と今年(1999年)10/17浦安のシェラトンホテルで結婚します。経法大に入学して本当に良かった。(大学2年の時からお付き合いしています)校友会報に記載して欲しいです。

20期生 相良 修 1993年度法学部卒業 及川 伸ゼミ 経法大の時に知り合った90L604の浅野知子さんと10月17日にシェラトンホテルで結婚式を挙げるようになりました。経法大で学生生活を送れたことに感謝します。卒業生も東京ゼミナーハウスを利用できるようにして欲しいです。お願い致します。

20期生 高橋 敦 1993年度法学部卒業 安武敏雄ゼミ 大阪、東京、金沢と転勤し今年6月に京都に戻りました。全国に支部があれば良いと思います。母校の発展の為に協力したいと思います。

20期生 笹井(旧姓・下山)恵子 1993年度法学部卒業 福本恵男ゼミ ゴルフ部 今年の4月から大学院(教育心理学)へ通っています。

21期生 岸 貴之 1994年度経済学部卒業 能塚正義ゼミ ウイナーズテニスクラブ ご苦勞様です。できる範囲で協力させていただきます。宜しく願い申し上げます。校友会の発展を祈念致しております。

21期生 工藤 孝澄 1994年度経済学部卒業 中西健一ゼミ 陸上競技部 現在、DTPエキスパート認証試験を受験する為に頑張っております。宜しければ大学関連の印刷物の製作に尽力したいと思います。

21期生 田中 伸子 1994年度経済学部卒業 東山栄次ゼミ 創刊号のメッセージを載せて頂いてありがとうございました。卒業で暑いなか頑張ってます。

21期生 岡野 直記 1994年度経済学部卒業 山本広太郎ゼミ 現在は大阪にあるソフトウェア開発関連会社で勤務しています。職種はプログラマーで、大手企業に志向しシステム開発に従事しています。

22期生 松浦 民子 1995年度経済学部卒業 山口正之ゼミ 卒業して会社に入り4年目となりました。仕事面でもプライベートでも、物足りなさ、変化のなさを最近とくに感じています。在学中取得した教職免許を生かし、以前からの夢でもあった教員になろうと、もう一度チャレンジしようと思っています。

22期生 渡邊 紀彦 1995年度経済学部卒業 伊奈健二ゼミ体操競技部 卒業して早4年が経過しました。その間に大学内もかなり変わった様子。今後は校友会のメンバーの一員として、大学の新しい姿の実現に協力していきたいと思ひます。

22期生 菊山 譲 1995年度法学部卒業 金子道雄ゼミ 99年国家公務員 種試験に合格し、厚生省に採用され2月から厚生事務官として北陸病院医事係に勤務しています。母校の名を汚さないよう、しっかりと働きます。

22期生 磯野 幸司 1995年度法学部卒業 道谷 卓ゼミ 東洋哲学研究会 今年の4月から知的障害者の施設に転職しました。とても大変ですが、学生の頃からの夢でやりがいのある仕事です。大学の仲間も電話で連絡を取り合っています。

22期生 吉田 豊 1995年度法学部卒業 村下 勉ゼミ 中国語、朝鮮語を勉強したい方を教えます。"経法"で勉強した中国人も何人かいます。

23期生 前田 優子 1996年度経済学部卒業 振津純雄ゼミ 大学の方へ一度遊びに行きたいと思っています。先輩たちの活躍を願っております。

23期生 森野 和也 1996年度経済学部卒業 東山栄次ゼミ 介・保導入に伴い、仕事柄たいへんな業務に追われている。経法大の益々の進展を期待します。

23期生 増田 貴寿 1996年度経済学部卒業 山本広太郎ゼミ 毎日忙しい日々を元気で過ごしています。消防署レスキュー隊となり頑張っています。

23期生 宮木 猛 1996年度法学部卒業 小室直人ゼミ 陸上競技部 大阪に仮住まいしながらロックバンドを楽しんでいます。そのうちプロデビューしたいと思います。

23期生 鍋矢 正明 1996年度法学部卒業 井川一久ゼミ 東洋哲学研究会 卒業して3年目になりますが、経法大として、社会に認められるよう頑張っております。いつまでも経法大生として誇りを持ってきたいと思います。

24期生 岩田 通男 1997年度経済学部卒業 木口善康ゼミ 陸上競技部 元気で頑張ってます。集まりがあれば是非声を掛けて下さい。

24期生 廣田 和人 1997年度法学部卒業 古川利通ゼミ UP-BEAT 経法卒業後、大学病院の勤務を経て現在看護学校へ転職し看護士を目指しています。大学とはまったく違った生活を送っていますが、大学時代に経験したことは今の生活すべてに反映できていると思います。大学時代はいろいろ経験ができ、とても良い思い出に残っていて、パワーの源になっています。

24期生 吉岡 健治 1997年度法学部卒業 山代義雄ゼミ K'z 去年卒業して1年間の公務員浪人をした後、今年から地元の名多良見町役場で働いています。大学で経験したことを活かして頑張ります。山代先生よろしくお伝え下さい。

25期生 河尾 高伸 1998年度経済学部卒業 中嶋陽子ゼミ 陸上競技部 大学の宣伝のためにも陸上競技部(駅伝部)の強化をして欲しい。

25期生 大空 靖志 1998年度経済学部卒業 東郷 久ゼミ 4月に入社して、仕事も慣れましたが、余裕が有りすぎ、自分のボクシングのトレーナーになりたいという夢をもう一度考え、退職するかどうか深く悩んでいます。

25期生 徐 國良 1998年度経済学部卒業 中西健一ゼミ 書道友好会 卒業したところですが、今は東京にある外資系の人事を担当しています。できる限りこれから会社の人材募集する時には、大学の後輩を入れて頂きたい思います。

25期生 小幡 大輔 1998年度経済学部卒業 能塚正義ゼミ 今年(1999年)3月卒業後も頑張っています。今は大阪市内の出版社で働いており、忙しいながらも充実した毎日を送っています。校友会の会合等、都合がつけば参加させて頂きたい思います。

25期生 田口 幸輝 1998年度法学部卒業 橋本 久ゼミ パートをしながら公務員試験準備をしています。

25期生 酒井 寛貴 1998年度法学部卒業 鈴木直哉ゼミ 入社して5ヶ月になり、仕事にもなれ頑張っています。大変なことも多いですが、友人といろいろ話を聞いて、何とか頑張っています。

25期生 井開 美香 1998年度経済学部卒業 名取健昭ゼミ 卒業後もこういった会報が送られてくるのはうれしいです。これからも送って下さい。

25期生 仁科 佳子 1998年度法学部卒業 本多淳亮ゼミ ハドミンツエザー コック 社会人1年目で、いろいろたんへんですが、頑張ってます。